

会場案内・アクセス

大会受付・開会式・環境シンポジウム

五箇荘
コミュニティセンター

〒529-1422
滋賀県東近江市 五箇荘小幡町318

- ・名神高速道路・八日市ICより約20分
- ・近江鉄道「五箇荘駅」より徒歩10分



前夜祭・大会スタート

能登川
水車とカヌーランド

〒521-1235
滋賀県東近江市伊庭町1269

- ・名神高速道路・八日市ICより約30分
- ・JR「能登川駅」よりタクシーで約10分



閉会式・抽選会

道の駅
奥永源寺溪流の里 (体育館)

〒527-0207
滋賀県東近江市蓼畑町510

- ・名神高速道路・八日市ICから国道421号線をいなべ市方面へ約30分



湖・里・森のつながりに
思いを巡らせながら
自然を体感!



2017

環境スポーツイベント シートゥーサミット®

SEA TO SUMMIT®

2017

LAKE BIWA HIGASHIOMI

6/3・4 びわ湖 東近江

滋賀県

SAT SUN

滋賀県東近江市 (モンベルフレンドタウン東近江市)

大会プログラム



KAYAK 11km



BIKE 38km



HIKE 6km

主催 / 東近江市 SEA TO SUMMIT® 実行委員会 共催 / 東近江市

後援 / 環境省近畿地方環境事務所、観光庁、滋賀県、八日市商工会議所、東近江市商工会、びわ湖の森の生き物研究会

びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT®2017 大会に寄せて



SEA TO SUMMIT®
大会長
東近江市長
小椋 正清

「びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT® (シートゥーサミット) 2017」に全国各地から多数の皆さんにお越しいただき、心から歓迎申し上げます。

東近江市は、鈴鹿山脈から琵琶湖までの広大な面積を有し、JRや私鉄のある都市部から田園風景広がる農村地域、湖辺には水郷集落があります。また、市の面積の約56%を占める森林は、琵琶湖にそそぐ河川の水源として、地域の産業や暮らしを支えています。そして琵琶湖や内湖には固有種であるビワマスやホンモロコガ、山間部にはカモシカやイヌワシなどが生息し、愛知川沿いにはそれらをつなぐ貴重な河辺林が残っています。この多様な生態系も東近江市の特徴の一つです。

東近江市にこれだけ多様な生態系が残るのは、単に気候や地形などに恵まれているだけでなく、人と自然とが適度に調和し、その暮らしを継承してきたからです。東近江市は、木地師発祥の地であり、近江商人の精神が息づく地域です。これらの精神に学び、自然との調和や社会貢献といった心を育て、自然環境や歴史・文化を次世代に継承していかなければなりません。

今回、滋賀県初開催となる「びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT®」では、実施にあたって多くの関係者のつながりができるとともに、東近江市の地域資源やその価値に再び目を向けることにつながりました。そして、それらの魅力を市内外からエントリーいただいた皆さんと共有できることを大変光栄に思います。参加の皆さんや応援にこられた皆さんには、鈴鹿山脈から琵琶湖までが一つのまちでつながる面白さを肌で感じてもらうとともに、それらの自然により育まれてきた多様な歴史や文化にも触れていただければ幸いです。

また、参加される皆さん同士はもちろん、地元実行委員や沿道の皆さんとも交流を深めていただき、東近江市のひとを感じていただければと思います。

最後になりましたが、参加される皆様には、くれぐれも東近江市の自然環境をゆっくり楽しんでいただき、そして全員がゴールされることを御祈念申し上げまして御挨拶いたします。



SEA TO SUMMIT®
実行委員長
青山 孝司

「びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT®2017」に全国各地よりご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

母なる湖「琵琶湖」を有し、環境問題に対して多種多様な面から取り組む滋賀県での初開催をこの東近江市の地で迎えることが出来、本当にうれしく思っています。

初開催ということもあり、準備や大会運営などに戸惑うところもありましたが、実行委員会メンバーをはじめ大会に携わる者全員が、「楽しもう!」を合言葉に実施に向けて取り組んできました。

大会の舞台は、琵琶湖国定公園と鈴鹿国定公園の2つの国定公園を結ぶ全長約55キロメートルです。この中には、この東近江市の自然の豊かさがたっぷり詰まっています。また、その自然から育まれた歴史の深さもじっくり楽しんでいただければ幸いです。

大会の各所では、近江商人の「三方よし」の精神を受け継いだ「おもてなし」をご用意しております。長い道のりですので疲れたらぜひ休憩をはさんで、ゴールまで堪能していただきたいと思います。

それでも1日では遊び尽くせない魅力が東近江市には多くあります。この大会を機に東近江へまた遊びに来てくださいね。

最後になりましたが、多くの皆さんがこの大会を楽しんでいただき、素敵な思い出ができますようご祈念申し上げます。



SEA TO SUMMIT®
連絡協議会理事長
モンベルグループ代表
辰野 勇

この度、東近江市をはじめとした関係各位の協力のもとに、初めての「びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT® (シートゥーサミット)」が開催される運びとなりました。

琵琶湖国定公園と鈴鹿国定公園を舞台に、全国からアウトドアスポーツを愛好する人々が集います。それぞれのペースで、タイムを競うことなく、かけがえない大自然の循環を肌で感じながら、カヤック・自転車・登山の人力のみの手段で、琵琶湖や鈴鹿山脈の魅力を味わう大会が繰り広げられます。

自然の循環を感じる環境スポーツイベントとして始まった「SEA TO SUMMIT®」。そのコンセプトをもとに、365日いつでも快適な旅やアクティビティを楽しめる新しいエコツーリズムの形として「Japan Eco Track (ジャパン エコトラック)」を全国各地に向けて提案しております。「SEA TO SUMMIT®」にご参加いただいた後にも、ぜひまた東近江市を訪れていただき、四季折々の魅力を感じていただきたいと思います。

海・里・山 —

「SEA TO SUMMIT®」では、人力だけで海から頂上を目指し、大自然を全身で感じながら汗をかき、人と自然の関わり方の在るべき姿を改めて考える、そんな時間を皆さんと共有したいと思います。

びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT® 2017

開催要綱

- 主催** 東近江市 SEA TO SUMMIT®実行委員会
- 共催** 東近江市
- 後援** 環境省近畿地方環境事務所、観光庁、滋賀県、八日市商工会議所、東近江市商工会、びわ湖の森の生き物研究会
- 協賛** 株式会社モンベル、株式会社SUBARU
大山ハム株式会社、株式会社ビクセン、アリスト販売株式会社、オリンパス株式会社、プロテック、日本ゴア株式会社、株式会社ウェザーニューズ、株式会社むそう商事、ナイトアイズ、教えて!「かくれ脱水」委員会、ジェットボイル、バイオライト、ヘリノックス、ヒューマンギア、ラフウェア、アドベンチャー・テクノロジー 他

大会期日 2017年6月3日(土) - 6月4日(日)

- 会場** 6月3日 五個荘コミュニティセンター(大会受付・開会式・環境シンポジウム/雨天決行)
能登川水車とカヌーランド(前夜祭/雨天決行)
- 6月4日 能登川水車とカヌーランド(スタート)
【湖のステージ(カヤック)】能登川水車とカヌーランド→伊崎寺→能登川水車とカヌーランド(約11km)
【里のステージ(自転車)】能登川水車とカヌーランド→妹南交差点→道の駅奥永源寺溪流の里(約38km)
【山のステージ(ハイキング)】道の駅奥永源寺溪流の里→銚子ヶ口頂上(約6km)
道の駅奥永源寺溪流の里(閉会式)

定員 先着300名(募集人数に達し次第、受付を終了します)

参加費 【シングル(部)】 税抜き料金¥10,500(税込¥11,340) 【チーム(部)】 税抜き料金¥10,500(税込¥11,340)×人数
【学生割引(大学生まで)】 税抜き料金¥5,500(税込¥5,940)

※参加費には[環境保全協力金¥500]を含む

- 参加資格**
- シングル(部):高校生以上 チーム(部):中学生以上
 - 健康な方で、参加者全員分のカヤック装備(パドル・ライフジャケット・フラッグの装着を含む/SUPの場合リーシュコード必須)、自転車装備(ヘルメットを含む)、水分補給のための給水用装備(ハイドレーション・システムなど)を用意できる方
 - 大会事務局より大会参加承認を受けた方

※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。 ※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。 ※年齢は大会当日を基準とします。

表彰 「びわ湖 東近江大会」につきましては、安全面への配慮のほか、より東近江を満喫していただくため、タイム計測による上位表彰は行いません。

日程	6月3日(土)	6月4日(日)
【会場】 五個荘コミュニティセンター	11:30~12:30 カヤック・自転車搬入 (能登川水車とカヌーランド)	【会場】 能登川水車とカヌーランド
	11:30~13:30 大会受付	4:30~5:50 カヤック・自転車搬入
	13:30~13:40 開会式	5:50~6:00 スタート式
	13:40~15:15 環境シンポジウム(→詳細P.6)	6:00~ 大会スタート
	15:15~ 大会説明	【会場】 道の駅奥永源寺溪流の里 体育館
	16:00~18:00 カヤック・自転車搬入	15:30~ 閉会式・抽選会 参加者集合写真撮影
【会場】 能登川水車とカヌーランド	16:30~19:30 前夜祭	16:30 大会終了

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

制限時間 ●12:00までにハイクスタート(道の駅奥永源寺溪流の里:約49km地点)

●14:30までに銚子ヶ口頂上に到着すること

※詳しくは次ページの地図をご覧ください。

6月4日(日)

大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、ぜひ参考にしてください。

東近江地方の気象情報 (協力：株式会社ウェザーニューズ)

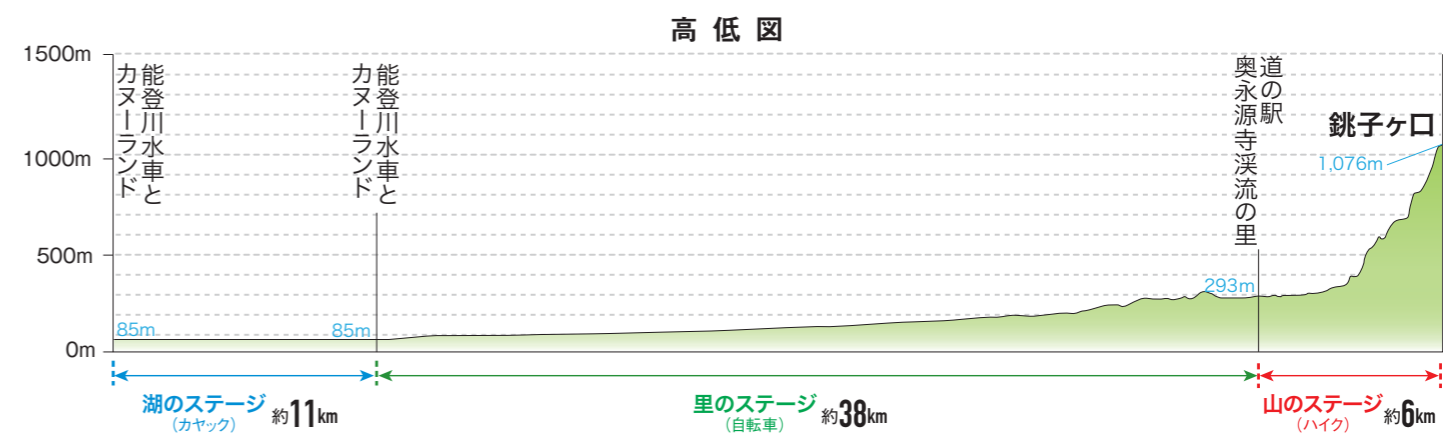


大会コースの主要ポイントの天気や風、波の高さなど気象情報をご案内しています。

<http://weathernews.jp/s/pinpoint/seatosummit/?area=higashiomi>



※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。



35°11'07"N 136°08'16"E

能登川水車と カヌーランド



【応援目安時間】6:00-9:00



【応援サポーターの方へ】

路上駐車、自動車による自転車との併走は他の方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。各応援ポイントの最寄りの駐車場 **P** をご利用ください。



35°06'11"N 136°15'04"E

妹南交差点



【応援目安時間】8:00-10:00

35°06'19"N 136°22'20"E

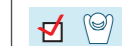
道の駅 奥永源寺溪流の里



【応援目安時間】9:00-11:30

35°03'34"N 136°23'12"E

銚子ヶ口 頂上 (大会フィニッシュ地点)



【応援目安時間】10:30-14:00

【会場】五個荘コミュニティセンター

〒529-1422 滋賀県東近江市 五個荘小幡町318

環境シンポジウムは
参加無料です

どなたでもご参加
いただけます。

13:00~13:40 開会式

13:40~14:20 基調講演

「ようこそ、琵琶湖・近江へ! ~愛知川がつなぐ水と人~」

嘉田由紀子 / びわこ成蹊スポーツ大学学長 (前滋賀県知事)



Yukiko Kada

1970年代にアフリカとアメリカで水環境を学び、結果として琵琶湖の自然と文化の世界的価値を発見。琵琶湖博物館を提案、創設にかかわる。30年間の研究成果を行政と政治に活かすべく、2006年から二期8年間、滋賀県知事を務める。「ないものねだりではなくあるもの探し・あるもの活かし」で地域の内発的発展をめざす。現在、大学経営者として、琵琶湖の自然を活かしたスポーツと歴史・文化の融合実践を目指す。

14:20~15:15 東近江の魅力紹介

「びわ湖から鈴鹿10座まで」

石原 真 / モンベル滋賀竜王店 店長



Shin Ishihara

東近江市在住。現在はモンベル滋賀竜王店店長。中部山岳ガイド協会所属ガイド。高校時代から登山とクライミングを始める。1982年、ネパールヒマラヤロブジェ東峰南東壁に新ルート開拓。身近に自然を感じられる滋賀に移り住み、鈴鹿山系をベースに活動を続け鈴鹿10座選定に携わる。

「クロストーク」Sky × びわ湖の森の生き物研究会



Sky (空さやか/空まどか)

2004年結成の姉妹デュオ。2010年「夢ひとつ-2010Special-」でメジャーデビュー。ストレートな詞、耳に残るメロディアスな楽曲が評価され、ソングライターとしても多くの企業へ楽曲を提供。東近江市にある奥永源寺をイメージして作った楽曲「円」を手がける。

びわ湖の森の生き物研究会

琵琶湖周辺の森林に住む生き物(哺乳類、鳥類、昆虫、魚類、植物など)を調査研究する市民研究家の集まり。サンライズ出版より、シリーズで書籍が出版されている。自然や人との関わりについてシンポジウムやセミナーを開催し、普及啓発活動も行う。

15:15~ 大会説明

前夜祭を開催します!

びわこジャズ東近江とのコラボ企画。前夜祭は音楽で盛り上がりましょう! 奮ってご参加ください。

【会場】能登川水車とカヌーランド

【日時】6月3日(土) 16:30~19:30



株式会社モンベル

<http://www.montbell.jp/>

総合アウトドア用品メーカー。「FUNCTION IS BEAUTY (機能美)」「LIGHT & FAST®」をコンセプトに、高性能な登山用品、アウトドア用品の開発・製造・卸・販売を行っています。



株式会社SUBARU

<https://www.subaru.jp/lifeactive/>

2017年4月1日より、富士重工業株式会社から株式会社SUBARUへ社名変更し、「モノをつくる会社から、笑顔をつくる会社へ」生まれ変わりました。これからも人生をアクティブに楽しむ人々を応援し続けます。



大山ハム株式会社

<http://www.daisenham.co.jp/>

2013年ドイツ農業協会(DLG)主催国際品質競技会9年連続金賞受賞の「カントリーロースト(スライス)」を中心に、丹念に造り上げたハム・ソーセージ・ベーコンを食卓にお届けします。



株式会社ビクセン

<http://www.vixen.co.jp/>

ビクセンは60年以上にわたって、双眼鏡、天体望遠鏡、ルーペなどを製造している光学機器のメーカーです。レンズ越しに広がる美しい星空や、新しい眺めを、より多くの人に楽しんでもらいたいと願っています。



アリスト販売株式会社

<http://www.arist.co.jp/>

「メダリスト」はクエン酸サイクルに基づき開発された、10年以上の実績を誇る回復系飲料のロングセラー。1ℓで梅干し約12個分のクエン酸とアミノ酸、ビタミン、ミネラルなど40種類の成分を配合しています。



株式会社ウェザーニューズ

<http://weathernews.jp/>

グローバルに展開する気象情報会社。スマホアプリ「ウェザーニューズスタック」や24時間お天気情報番組「SOLVE!24」を通して、地震・津波の発生や大雨などによる災害リスクをいち早くお伝えします。



オリンパス株式会社

<http://olympus-imaging.jp/>

オリンパスは映像事業を通じて、お客さまのさまざまな環境下(特にSEA TO SUMMITのような厳しい環境下)でも「思い出」「夢」を創造し、より豊かな生活を提案させていただきます。



プロトレック

<http://protrek.jp/>

いかなる状況下でも、すばやく自然を感じる本格アウトドアギアとしてのユーザビリティを追求し、常に進化を続ける時計ブランドです。さまざまなフィールドへの挑戦をサポートします。



日本ゴア株式会社

<http://www.gore-tex.jp/>

耐久防水性、防風性、透湿性を併せ持つ機能性素材GORE-TEX®ファブリックスの製造メーカー。GORE-TEX®プロダクトは、気候の変化から体を守り、アウトドアでの活動をより快適なものにします。



株式会社むそう商事

http://www.muso-intl.co.jp/taste_of_nature.php

オーガニック食品・原材料の輸入卸売業。サクッと歯ごたえの良い玄米パフとナッツにドライフルーツの酸味がクセになる美味しさ「オーガニックフルーツ&ナッツバー」を提供しております。



ナイトアイズ

<http://cmoon.biz/>

ロックマウンテンの麓、コロラド州ボルダーで創業より28年、日常生活からアウトドアまで、よりシンプルに、より安全に、そして少しでも皆が楽しくなるような商品を開発し続けています。

教えて!
「かくれ脱水」委員会

教えて! 「かくれ脱水」委員会

<http://www.kakuredassui.jp/>

深刻な脱水状態の一手前を「かくれ脱水」と名づけ、脱水に対する正しい知識と予防方法・対処方法を伝えています。私たちは、深刻な脱水状態を防ぐことで熱中症で搬送される人をゼロにしたい。



アドベンチャー・テクノロジー

<http://www.atpaddles.com/us/>

人間工学を追求したパドルのノウハウで特許を持つパドルブランド。ホワイトウォーターからツーリングまで幅広く展開しています。



ジェットボイル

<http://www.jetboil.jp/>

アメリカで数多くの賞をおさめた、アウトドア調理器具ブランド「ジェットボイル」。保温クッカーと熱効率の高いストーブがセットになった、簡単便利・軽量・コンパクトな製品を生み出しています。



バイオリイト

<http://www.biolitestove.jp/>

ガソリンなど化石燃料を使わずに、強力で安定した焚き火ができ、さらに発電もできる画期的なキャンピングストーブを開発。ソーラーチャージャーやライティンググッズなど、電気力でアウトドアを快適にします。



ヘリノックス

<http://www.helinox.jp/>

優れた強度と柔軟性を持つアルミニウムボールを採用した超軽量・コンパクトなチェアやテーブル、コットなど、革新的なアイテムを生み出すアウトドア・ファニチャーのブランドです。



ヒューマンギア

<http://www.humangear.com/>

「ゴートバイト」や「ゴートフープ」など、アウトドアやトラベル・シーンを快適にする、シリコン製容器や、丈夫で軽量のカラーリール・シリーズなどユニークなアイテムを取りそろえた、アメリカ発のブランドです。



ラフウェア

<http://www.ruffwear.jp/>

犬と一緒にアウトドア・アクティビティを楽しむことを提案し、その実現のためにさまざまなギアやウェアを製造しています。